



ワンパーセント
公益財団法人 **イオン1%クラブ**

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1-5-1
TEL:043-212-6023 FAX:043-212-6461
URL:<https://aeon1p.or.jp/1p/>



活動の詳細はホームページへ フェイスブックもご覧ください

公益財団法人
ワンパーセント
イオン1%クラブ
概要書 2022

考える力、広い視野、思いやりの心を養い、
子どもたちの未来を育んでいきます。



目次

- 03 ご挨拶
- 04 設立の経緯
- 05 イオン1%クラブの事業

次代を担う青少年の健全な育成

- 07 環境・社会をテーマに、考え、学ぶ
- 09 広めよう、エコ活動の環
- 11 考えをまとめ、伝える力を養う
- 13 アジアの子どもたちに学びの場を
- 15 安全な水を、アジアの子どもたちへ

諸外国との友好親善の促進

- 17 アジアの国々をつなぐ友好の輪
- 19 国境を越え、多様な価値観を学ぶ
- 21 アジアの学生の夢を応援

地域社会の持続的発展

- 23 被災地の復興と、さらなる発展を願って
- 25 御万人ぬくくる(みんなのこころ)首里城
- 27 ふるさと未来支援
- 29 地域のくらしと伝統を、未来へつなぐ

31 イオン1%クラブのあゆみ

33 2022年度 活動予定

34 参加者の声

35 創設者・役員・評議員一覧

36 特別寄稿 ～寄付協賛企業より～

37 寄附・協賛企業一覧

ご挨拶

当財団の活動に対し、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの不変の基本理念を具体的な行動に移し、企業の社会的責任を果たすことを目的に1990年に設立されました。

以来30年以上にわたり、イオングループ主要企業が税引き前利益の1%相当額を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」の3つを柱とする、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

昨今の地球温暖化に伴う自然災害の多発や、新型コロナウイルスの感染拡大がもたらした社会や価値観の変化は、文明の発展や豊かな生活と引き換えに、地球環境や生態系が破壊されて産まれたものであり、温暖化を止め、持続可能な社会を築くために、さらなる行動が求められています。イオンワンパーセントクラブは、組織の垣根を越えた関係の構築が問題解決の鍵であると考え、地域住民、企業、学校、行政などさまざまな立場の方々と協働を進めてまいります。

2022年度は、当財団の事業の柱である、「次代を担う青少年の健全な育成」に注力し、イオングループやイオン環境財団との関係をより深く、イオンの店舗を基点に、子どもたちが無意識のうちに環境や地域の伝統文化について学び、楽しいと感じられる体験学習の場づくりを推進します。

また、日本国内で行う事業を中心に、「地域」単位での事業活動に、より重点を置くとともに、対外発信力を高め、人的ネットワークの強化を図ります。

当財団はこれからも、青少年の健全な育成、諸外国との友好親善の促進、地域社会の持続的発展に寄与してまいります。

公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

理事長 森 美樹



設立の経緯

企業による社会貢献活動が、日本において未だ本格化していなかった1990年、ジャスコ株式会社代表取締役会長(当時)岡田卓也の提唱により、「イオングループ1% (ワンパーセント) クラブ」が設立されました。

ジャスコ誕生20周年を機に、「絶えず革新し続ける企業集団」として、「『平和』を追求し、『人間』を尊重し、『地域』に貢献する」という新生イオングループの基本理念の具現化を図り、社会的責任を果たすことがその趣旨でした。

企業の業績にかかわらず継続的に活動するため、グループ主要企業各社が税引き前利益の1%を拠出し、事業の柱を「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」と決めました。

各事業で取り組む社会貢献活動の原点は、イオンの前身のひとつである岡田屋の時代に遡ります。1958年、親を亡くした子どもの嘆きを表した中国の故事「風樹の嘆」にちなんで名付けられた「風樹会」という交通遺児育英会を組織し、1カ月の学費に相当する金額を、毎月5名の高校生奨学金として給付しました。この活動は後に提携した企業にも受け継がれ、企業の規模にかかわらず「できることから始める」という企業風土を醸成するきっかけとなりました。

2017年、岡田卓也が理事長をつとめる公益財団法人岡田文化財団による給付型奨学金制度として復活し、大学進学を目指す高校生への学費支援を行っています。

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオン(AEON)とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。

私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

平和：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

人間：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

地域：イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。



ワンパーセント
イオン1%クラブの事業

イオングループの主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」、「諸外国との友好親善の促進」、「地域社会の持続的発展」を3つの柱となる事業として活動しています。



→寄付・協賛企業一覧はP37・P38を参照



次代を担う青少年の健全な育成

環境・社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地域の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。また、教育施設が不足する国々の学校建設などを支援します。



P.07-P.16



諸外国との友好親善の促進

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。また、日本への留学生に対する奨学金授与など、国際人の育成を支援します。



P.17-P.22



地域社会の持続的発展

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承、そしてこれらを担う人材の育成などを支援します。また、大規模自然災害により被災した地域の復旧・復興を支援します。



P.23-P.30



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標 (SDGs)」です

環境・社会をテーマに、 考え、学ぶ



宇都宮ファーマーズプログラムにて長ネギの収穫を体験(栃木県)

イオンチアーズクラブ

1996年に環境省の事業である「子どもエコクラブ」の支援をきっかけにスタートし、小学1年生から中学3年生までの子どもたちが、集団行動を通じて社会のルールやマナーを学びながら、環境や農業などへの興味・関心や考える力を育む場として全国420カ所を拠点に、体験学習を行っています。各クラブが「環境・社会」に関する各エリア特有の具体的なテーマを選定し、2021年度は農業体験や生き物調査、地域の特産を学習した他、コロナ対策として、自宅で活動する野菜の栽培キットを使った成長観察、環境をテーマにしたポスターや川柳のコンテスト等を実施しました。



2022年度の活動予定

プラスチック削減、食品ロスなど、エリアごとに各クラブが主体的にテーマを設定。リアルとオンラインを組み合わせた活動を実施。



現在参加しているメンバー

5,206人
Y Y Y Y Y Y Y Y

全国で活動しているクラブ総数

420クラブ
🌿🌿🌿🌿🌿

※2022年2月時点



イオンモール川口前川ふるさとの森づくりにて植樹を体験(埼玉県)



北陸信越エリアの壁新聞大会(石川県)



オンラインにて開催した北陸信越エリア交流会

広めよう、 エコ活動の環



トマトの残渣を分解する能力の高いシママミズにエサやりをする生徒(愛知県立安城農林高津学校)

(エコワン) イオン eco-1 グランプリ

高校生の優れたエコ活動を顕彰する「イオン eco-1 グランプリ」。環境活動に取り組む全国の高校が成果発表と情報共有を行う場です。地球の未来を担う若者たちが、環境問題について考え行動するきっかけとなることを願い、2012年にスタートしました。オンラインにより開催した第10回イオン エコワングランプリ最終審査会は、地産地消や循環型社会を意識した取り組みを行った2校が、内閣総理大臣賞を受賞しました。



2022年度の活動予定

イオン環境財団と連携し、過去のグランプリ受賞校の活動内容紹介や各地域での環境活動実施団体等との交流、人的ネットワークの強化等を通して、活動の裾野を広げる。

詳しくはこちら



公式HP

<http://www.eco-1-gp.jp/>

イオン eco-1



これまでの参加校数

1,165校

エコの環スクール登録校数

360校

※2022年2月時点



賞状を手に記念撮影(内閣総理大臣賞【普及啓発部門】秋田県立大曲農業高等学校)



硫黄由来の資源を活用したガラス除けプロジェクトの発表



賞状を手に記念撮影(内閣総理大臣賞【研究専門部門】愛知県立安城農林高等学校)



理事長よりイオンエコワングランプリ開催のご挨拶

考えをまとめ、伝える力を養う



賞状を手にする金賞受賞者

中学生作文コンクール

健康な心と体、豊かな人間性を育む“食”をテーマに、自分自身の考えをまとめ、相手に伝える力を養っていただくことを目的とした「中学生作文コンクール」。全国の中学生を対象に優秀な作品を顕彰し、広く周知することで食育の啓蒙に努めています。2021年は、「食品ロス～もったいないを減らそう～」をテーマに作文を募集し7,952作品が寄せられました。同世代で共有することで食への理解を深め、今後の行動につながることを願い、「食品ロス」についての事前学習動画の配信や金賞受賞者による意見交換の場として「食のミライ会議」を開催しました。



2022年度の活動予定

「持続可能な食」をテーマに、募集前のオンライン講義を実施する他、入賞者に対するフォローアップセミナーを開催予定。

受賞作品はこちら

<http://aeon1p.or.jp/1p/youth/sakubun/>



受賞作品

2021年度応募作品数

7,952作品



累計応募作品数

延べ14,061作品



※2022年2月時点



「楽しみながら家庭で実践 今日からできる食品ロス」体験セミナーの様子



食の未来会議の様子



第5回中学生作文コンクール募集

アジアの子どもたちに 学びの場を



学校建設支援した校舎で学ぶミャンマーの子どもたち

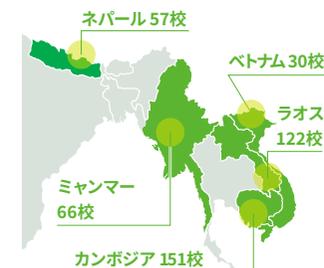
学校建設支援事業

「平和な社会の実現には基礎教育の充実が不可欠」という想いのもと、教育施設の整備が遅れているアジア5カ国において、2000年より学校建設支援を行っています。全国から寄せられた募金とイオン1%（ワンパーセント）クラブからの拠出金を活用し、カンボジア、ネパール、ラオス、ベトナム、ミャンマーにおいてこれまでに426校の学校が完成しました。校舎の建設や給水施設の整備、学用品のほか、教員の養成など、ソフト面での支援も行っています。



2022年度の活動予定

ミャンマー・カレン州にて、学校建設支援と教員研修支援を継続。



学校で学べるようになった子どもの数

約**37万人**
 ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

これまで建設を支援した学校数

426校
 🏫🏫🏫🏫🏫🏫🏫🏫

※2022年2月時点



旧校舎で学ぶミャンマーの子どもたち



新校舎での授業の様子



建設した新校舎（コバドゥ小学校）

安全な水を、 アジアの子どもたちへ



©UNICEF/UNI266780/Santepheap

新たに設置された給水施設で手を洗うカンボジアの子ども

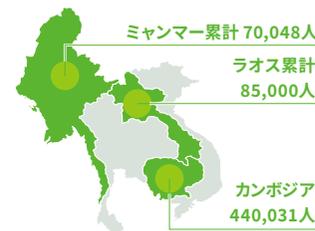
イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン

カンボジア、ラオス、ミャンマーの一部地域では、衛生的な水の確保が難しく、不衛生な池の水や、健康を害する恐れのある物質を含んだ地下水が生活用水として使われています。また、遠方への水汲みに時間をとられ、学校で学べない子どもたちもいます。「イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン」は、こうした子どもたちを健康・教育の両面でサポートするため2010年にスタート。日本ユニセフ協会を通じ、全国から寄せられた募金とイオン1%（ワンパーセント）クラブからの拠出金が、安全な水の供給や給水施設の設置に役立てられています。



2022年度の活動予定

カンボジア、ミャンマーを対象に支援。4月9日（土）～5月8日（日）で全国募金を実施。



これまでの3か国累計

約**595,000人**



※2022年2月末時点



カンボジア ©UNICEF/UN0293246/Llaurado

安全な水を使うカンボジアの子ども



在日本カンボジア大使館での募金贈呈式



カンボジア・ミャンマーの支援に対する日本ユニセフ協会からの感謝状

アジアの国々をつなぐ 友好の輪



北京の高校で教わりながら授業を体験

ティーンエイジ アンバサダー

「ティーンエイジ アンバサダー（小さな大使）」事業は、日本と海外の高校生が、互いの国を訪問し、国際的な相互理解と親交を深める交流プログラム。文化や伝統、生活習慣の異なる同世代の若者たちが、「大使活動」「交流活動」「歴史・文化活動」の3つの活動を通じて交流します。同事業は、1990年より毎年実施しており、これまでに日本を含めた18カ国2,421名が参加しています。



2022年度の活動予定

「ゴミ問題（プラスチックゴミ）」をテーマに、日本とマレーシアの相互交流を実施。11月日本招聘、2023年1月マレーシア派遣（半島部と東部の2か所）を予定。

海外プログラム

日本プログラム

これまでの交流人数



18カ国
2,421名
※日本人参加者も含む
※2022年2月時点

■これまでの交流国

イタリア・インドネシア・英国・オーストラリア・韓国・カンボジア・タイ・中国・ドイツ・フィリピン・ブラジル・ブルガリア・ベトナム・ペルー・マレーシア・ミャンマー・ラオス・日本

プログラム内容 約一週間のプログラムは3つの活動で構成されています。

1 大使活動

母国を代表する小さな大使として、各国の政府や大使館などへの表敬訪問を行います。



中国外交部へ訪問

2 交流活動

学校での授業体験やホームステイなど、相手のくらしにふれることで、ペア生徒との友情を育みます。



3 歴史・文化活動

伝統文化体験やその国ならではの史跡・施設の見学などを通じ、相手国の歴史と文化を学びます。



国境を越え、多様な価値観を学ぶ



プログラムの終了を惜しむ参加学生たち

アジア ユースリーダーズ

「アジア ユースリーダーズ」は、アジア各国の高校生が、共通の社会問題をテーマに、英語を共通言語として、視察や専門家によるレクチャーの後、議論を重ね、解決策を提案するプログラム。各国の異なる価値観を持つインドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、ラオス8カ国の学生たちが、自分とは違う考え方や意見に対する理解を深め、視野を広げ、次世代を担う若きリーダーを育成することを目的とします。2021年は、「脱炭素社会の実現に資する持続可能な食の未来づくり」という3カ年の統一テーマのもと、食品ロスの削減を取り上げ、各国をZoomでつなぎ開催しました。



2022年度の活動予定

「脱炭素社会の実現に資する持続可能な食の未来づくり」について、3カ年計画の2年目として消費の視点から、プログラムを実施。



開催国とテーマ

- | | |
|--------------------|--------------------------------------|
| 第1回 生物多様性 (ベトナム) | 第8回 食と健康 (日本) |
| 第2回 持続可能な開発 (ベトナム) | 第9回 食と健康 (インドネシア) |
| 第3回 水と経済 (日本) | 第10回 食と健康 (ベトナム) |
| 第4回 ゴミ問題 (インドネシア) | 第11回 コロナ禍に伴う学校教育上の課題と改善点・打開策 (オンライン) |
| 第5回 大気汚染 (ベトナム) | 第12回 食品ロス (オンライン) |
| 第6回 ゴミ問題 (中国) | |
| 第7回 水質問題 (タイ) | |

これまでの交流人数

9カ国 **1,066名**

※2022年2月時点



プログラム参加証明書を手に記念撮影



チームディスカッションの様子



プレゼンテーションの様子

アジアの学生の夢を応援



認定証を受けた学生(国際大学)

イオン スカラシップ

「イオン スカラシップ」は、アジア各国の大学生および日本で学ぶアジアの私費留学生を対象とした給付型奨学金制度です。将来それぞれの専門分野で、日本と祖国の架け橋となり活躍してほしいとの願いのもと、2006年にスタートしました。年間を通じた経済的支援のほか、日本で学ぶ奨学生を対象に、さまざまな研修カリキュラムやボランティア活動などの機会を提供し、グローバル人材への成長を目指す学生たちをサポートしています。各国で開催する認定証授与式では、奨学生が自らの夢と目標を語るスピーチ発表が行われます。



2021年度の活動予定

アジアから国内14大学の留学生への奨学金を給付。中国、アセアンでの受給実績のある留学生等や渡航前選考など対象者の範囲を拡大。

提携大学がある国



これまでの受給人数

7カ国 38大学
7,818人
YYYYYYYY
YYYYYYYY

※2022年2月時点



北京大学での「イオン杯」日本語スピーチコンテスト



認定証を見せる奨学生(ハノイ)



青島大学認定証授与式

被災地の復興と、さらなる発展を願って



コロナワクチン接種問診の様子

災害復興支援

大規模災害により被災した方々が、日常の生活を一日でも早く取り戻せるよう、復旧・復興を支援しています。国内外で発生した災害の被災地において、復興活動にお役立ていただくため、迅速な緊急支援金の拠出を行っています。

■ アセアン各国政府にコロナワクチン接種支援金を寄付

新型コロナウイルス感染症の早期の終息を目指し、マレーシア、ベトナム、インドネシア、タイ、カンボジアのアセアン各国政府に対し、コロナワクチン接種促進を目的とする支援金として総額7千万円の寄付をしました。

支援金額

総額 **7,000万円**



※2022年2月時点



コロナワクチン接種支援金贈呈式(インドネシア)



コロナワクチン接種支援寄付金贈呈式(マレーシア)



コロナワクチン接種支援金贈呈式(タイ)

■ 新型コロナウイルス医療従事者支援金

新型コロナウイルス感染によって罹患された方々のため、医療現場の第一線に対応されている医療従事者の皆さまの力になりたいとの思いから、「新型コロナウイルス医療従事者支援」として、1都1道2府18県6政令市に合計3,752万7,596円の寄付を実施。

支援金額

総額 **3,752万円**



※2022年2月時点



新型コロナウイルス医療従事者支援金贈呈式(千葉市)

御万人ぬくくる (みんなのこころ) 首里城



修復された首里城正殿 奉神門

首里城復興支援プロジェクト

大規模な火災により、世界遺産の首里城（那覇市）が甚大な被害を受けたことに対し、次代に継承する文化的資産の再建をお客さまとともに支援したいとの想いから、イオン株式会社が行っている「首里城復興プロジェクト」に賛同し、当財団では、2020年から5年間で5億円の寄付を予定しています。2021年は第2回目として沖縄県へ1億円の寄付を贈呈しました。



修復準備が進む首里城



首里城復元に向けた取り組み



沖縄県へ支援金贈呈

地域のくらしと伝統を、 未来へつなぐ



広島こども神楽を体験する地域の子ども

ふるさと未来支援

地域社会の一員として、未来の子どもたちへ受け継ぐべき伝統文化や歴史風土の普及に取り組むとともに、地域でくらす人々が絆を深める機会を提供し、より良いコミュニティづくりを支援します。

地域社会行事支援

地域に根づく伝統文化や歴史の継承を目指し、全国のお祭りや市民行事を支援しています。2021年は、感染症の影響で全国的に中止する行事が多くなりましたが、感染対策を行い実施された行事では、子どもたちが伝統芸能などを体験し、伝統文化を肌で感じる行事などを支援しました。

これまでに支援した行事の数

693件

※2022年2月時点



徳島市阿波踊りを披露する地域の方々



国の伝統的工芸品指定の高岡銅器を展示

アジア障がい者支援

各国の中でも社会福祉制度に対する整備が進んでいないカンボジア、ラオス、ミャンマーにおいて、障がい者に対する教育・就労支援を積極的に行っている「認定NPO法人難民を助ける会 (AAR JAPAN)」の活動に賛同し、2016年より募金活動を実施しています。



カンボジアの子どもに車いすを寄贈



キノコ栽培を通じた小規模起業を支援(ラオス)

ふるさと 未来支援



イオンふるさと発見伝開催の様子

■ イオンふるさと発見伝

次代を担う子どもたちに「ふるさと」の魅力を再認識し、愛着と誇りをもってほしいとの願いのもと、全国の神社や名所旧跡などを舞台に、女優の浅野温子さんによる地域民話の「よみ語り」を実施しています。2012年に東北の復興支援事業として始まった後、開催エリアを拡大し、現在では被災地以外でも地域の中学生を招待しています。



よみ語り聞き入る中学生

■ イオン すくすくラボ

「イオン すくすくラボ」は、地域で子育て世代をサポートするとともに、日本の童謡・唱歌に親しむ機会を提供する活動です。0歳～3歳の乳幼児とその家族を対象に、2008年より全国のイオンモールを主な会場として実施しています。子育ての第一人者として知られる筑波大学医学医療系教授 徳田克己先生による育児に関するアドバイスセミナーと、由紀さおり・安田祥子姉妹が会場の親子たちと一緒に歌う童謡コンサートとの二部で構成されています。



由紀さおりさん・安田祥子さんによる童謡コンサート



子育てセミナーの様子

イオン1%クラブのあゆみ

1990年の設立以来、多くの皆さまのご協力のもと、
小売業の特性を生かした数多くの社会貢献活動に取り組んできました。
これからも、次代を担う子どもたちの未来を応援し続けます。

- 1989 ● 「イオングループ1%クラブ」
設立を宣言
- 1990 ● 「小さな大使」第1回
(現：ティーンエイジ
アンバサダー)
- 1996 ● 環境庁 (現：環境省)
「こどもエコクラブ」
活動支援スタート
- 2000 ● 学校建設支援事業
カンボジアでスタート
- 2005 ● 「イオン こどもエコクラブ」から
「イオン チアーズクラブ」に改称
- 2006 ● 「イオン スカラシップ」
スタート
- 2007 ● ♥ 「シハヌーク・イオン
博物館」完成
♥ 地域行事支援スタート
- 2008 ● ♥ 「イオン すくすくラボ」
スタート
● 「小さな大使」を
「ティーンエイジ アンバサダー」
に改称
- 2009 ● ● 「ティーンエイジ アンバサダー
同窓会」を実施
● 「アジア大学生 環境フォーラム
in ベトナム」第1回
(現：アジア ユースリーダーズ)



設立を宣言するジャスコ(株)
代表取締役会長(当時)岡田卓也



マレーシアとの
交流プログラムを実施



こどもエコクラブ



「ココナッツ校」の愛称が
つけられた新校舎



イオン スカラシップ



カンボジアのクメール文化の
継承を願う建設を支援



地域行事支援



イオン すくすくラボ



現在のアジア ユースリーダーズ

- 2010 ● ● 「日本 中国 ティーンエイジ
アンバサダー」をスタート
● 「イオン ユニセフ
セーフウォーター
キャンペーン」スタート
- 2011 ● ♥ 東北支援スタート
- 2012 ● ● 「イオン eco-1 グランプリ」
第1回開催
♥ 「イオンふるさと発見伝」
スタート
- 2015 ● 公益財団法人へ移行
- 2016 ● ♥ 未来農業 Days サポートを
スタート
♥ 「福島キッズ森もり
プロジェクト」スタート
- 2017 ● ● 「アジア ユースリーダーズ」
第1回「食と健康」を
テーマに日本で開催
- 2018 ● ● 「日本 中国ティーンエイジ
アンバサダー」
10周年記念事業
- 2019 ● ● 30周年記念事業を実施
- 2020 ● ♥ 「首里城復興支援プロジェクト」
スタート
♥ 「イオン こども食堂応援団」
を支援



北京市政府や参加生徒から
高い評価を受け毎年開催することを決定



イオンユニセフ
セーフウォーター キャンペーン



募金活動や植樹活動のほか、東北の子どもの夢を
応援するプログラムなどさまざまな支援を展開



イオン eco-1 グランプリ



イオンふるさと発見伝



福島県の子どもたちを長野県
信濃町黒姫の「アファンノ森」へ招待



「未来農業Days」をサポート



アジア ユースリーダーズ



日本 中国 ティーンエイジアンバサダー
「10周年記念事業」開催



歴代ティーンエイジ
アンバサダーが東京に集結



首里城復興支援プロジェクト



2022 年度 活動予定

お客さまのご協力のもと実施する募金活動のほか、ミャンマーにおける学校建設支援や高校生の国際交流事業「ティーンエイジ アンバサダー」、地域の子育て世帯を応援する「イオン すくすくラボ」など、国内外でさまざまな活動を実施します。

🌱 次代を担う青少年の健全な育成

イオンチアーズクラブ

7月-8月：新型コロナウイルスの収束状況に応じてエリア単位で実施

中学生作文コンクール※「食と産業」塾の事業活動として再編成

6月：オンライン講義
7月-8月：募集 ★
11月下旬：表彰式

イオンeco-1グランプリ

4月-9月：募集 ★
10月：一次選考（書類審査）
11月：二次選考～最終審査
12月3日：表彰式・優秀事例・発表会

ミャンマー学校建設支援

9月17日-10月16日：募金 🍀
11月上旬：贈呈式
3月下旬：現地交流会（オンライン）

イオン ユニセフセーフウォーターキャンペーン

4月9日-5月8日：募金 ★
8月上旬：贈呈式
3月下旬：現地交流会（オンライン）

🌐 諸外国との友好親善の促進

ティーンエイジ アンバサダー（中国）

10月3日-9日：招へい
（延期時：3月初旬～中旬派遣）

ティーンエイジ アンバサダー（マレーシア）

11月7日-13日：招へい
1月16日-22日：派遣

アジア ユースリーダーズ

8月：国内
（延期時：12月19日-21日）

イオン スカラシップ（国内）

7月上旬：認定授与式&セミナー
1月14日：就活セミナー
2月17日：修了式

海外スカラシップ（中国）

6月上旬：スピーチコンテスト
8月上旬：日本研修
11月-12月：認定証授与式
1月：合同イベント

海外スカラシップ（アセアン）

11月-12月：認定証授与式
1月：合同イベント

📍 地域社会の持続的発展

首里城復興支援

10月下旬：支援金贈呈式（3/5回目）
11月：イオン店頭募金 🍀

イオン すくすくラボ

実施時期と場所は現在、検討中

イオン ふるさと発見伝

9月-10月：1回実施（場所は現在、検討中）

アジア障がい者支援募金

1月11日-2月10日：募金 🍀
3月中旬：贈呈式



ご応募ください
イオン1%クラブのホームページで順次、
詳細を公開します



ご協力ください
全国イオングループ店舗で募金活動を実施します

参加者の声

■ イオンチアーズクラブ

初めての田植えは、泥に足を取られて苗を植えるのが大変でした。稲刈りは、刈った稲を藁で結ぶのが大変でした。自分達が5月に植えた苗が、だんだん大きく立派に育って行って、すごいなと思いました。最後に修了証をもらえて嬉しかったです。（小学2年生）

3回にわたってみなかみ町の自然や、エネルギーの取り組みなどについて勉強して、みなかみ町はすごいところだと思いました。みなかみ町の魅力を教えていただき、ありがとうございました。（小学6年生）

■ アジア ユースリーダーズ

食品保存の知識と環境保護について学びたく、このプログラムに参加しようと思ったのは、9月に先生から言われた時です。食品の廃棄やロスを防ぐ方法をいくつか学びました。また、チームワークの大切さも分かりました。これから、自分の周りの人たちに、食品ロスや廃棄が世界的に深刻な問題であることを伝え、食品を無駄にしないよう伝えていきたいと思っています。（高校1年生）

チーム全員が、必ずしも同じ視点を持っているわけではありませんが、心を開き、積極的にお互いの話を聴き、肯定的な言葉を使うことで、合意に至るまで協力できることを学びました。私の目標は、英語のスキルを向上させ、世界についての知識を広げることです。自分の経験、知識や能力を活かし、地域や国を動かしていきたいと思っています。チームメイトと連絡を取り合い、良い関係を保っていききたいと思っています。（高校2年生）

■ イオン すくすくラボ

「習い事をさせても、そうでなくても同じ大学に入った」というお話を大変興味深く聞かせていただきました。先生のお話はとても楽しく面白くて、あっという間に終わってしまいました。またお話を聞きたいです。（子育てセミナー参加者）

お話をいただいた具体例に当てはまるものが多く、特に子どもとの関わり方については考え直したいと思いました。（子育てセミナー参加者）

今日の先生のお話・アドバイスを伺い、早速子どもへの接し方を見直そうと思いました。そして、これから子育てをもっと楽しもうと思います。（子育てセミナー参加者）

これからの子育てに参考になるお話ばかりでした。子どもの成長につながる「叱り」をしていきたいと思っています。直したいと思いました。（子育てセミナー参加者）

創設者・役員・評議員 一覧

※氏名五十音順 ※2022年7月1日時点

創設者	現職
岡田 卓也	イオン株式会社 名誉会長相談役
理事長	現職
森 美樹	イオン株式会社 相談役
理事	現職
池野 隆光	ウエルシアホールディングス株式会社 代表取締役会長
長 有紀枝	立教大学 大学院 教授
鹿取 克章	外務省 参与 査察使
小島 明	政策研究大学院大学 理事・客員教授
ジョン・ギャスライト	株式会社ツリークライミングワールド 代表取締役
徳田 克己	筑波大学 医学医療系 教授
西谷 義晴	元イオン株式会社 執行役
山本 良一	東京都公立大学法人 理事長
吉田 昭夫	イオン株式会社 取締役 兼 代表執行役社長
監事	現職
瀬戸 英雄	LM法律事務所 代表パートナー 弁護士
森 正勝	国際大学 特別顧問 名誉教授
若生 信弥	元イオン株式会社 執行役副社長
評議員	現職
岡田 元也	イオン株式会社 取締役 代表執行役会長
柴田 英二	イオン株式会社 顧問
辻 善則	株式会社社マネジメント研究所 所長
時岡 晤	元イオンマルシェ株式会社 代表取締役社長
藤崎 一郎	一般社団法人 日米協会 会長
村木 美貴	千葉大学大学院 工学研究科 教授
望月 晴文	東京中小企業投資育成株式会社 代表取締役社長
山下 昭典	イオン株式会社 顧問
横尾 博	元イオン株式会社 取締役会議長
渡辺 好明	新潟食料農業大学 学長

イオンワンパーセントクラブとともに

— 寄付・協賛企業代表より —

ウエルシアホールディングスが、イオングループの一員として、さまざまな分野に本格的に参画し始めてから10年ほどになります。当社は、地域の皆さまの健康で豊かな生活を応援するため、静岡県島田市が行う子育て応援活動の支援、東日本大震災被災者を対象とする「復興支援大学等奨学金」支援（2013～2020年度）、「選ぼう! 3Rキャンペーン」（*環境省主催）など、さまざまな環境・社会貢献活動に取り組んで来ました。

一方、30年以上にわたるイオンの環境・社会貢献活動の歩みを見ていますと、「私たちは、世の中にどのように関わり、人と環境を育てるのか?」という問いに答えを出すためには、気の遠くなるような努力が必要なのだというのを、改めて考えさせられます。

イオンワンパーセントクラブの活動は多岐にわたり、企業が行う社会貢献活動としては、他社が真似できない、内容の濃いものだと思います。しかし、地域の方々やグループ各社が行う活動との連動、及び認知度という点では、まだ改善の余地があるように感じます。例えば、現在、日本の農林水産業は、少子高齢化が進み、過疎の町が日々拡大するにつれ、存続が危うくなっているにもかかわらず、農業高校の卒業生が農家を就職先に選ぶことは皆無と聞いています。もしも、イオンワンパーセントクラブが私たちグループ各社と連携して、これらの産業の人材育成を支援したら、活動内容の認知度が高まるだけでなく、わが国にとっても良いことではないでしょうか?そして、たくさんの人が夢を見て、ほんの少し行動を起こしてくれたら、イオンワンパーセントクラブを後押しするイオングループの従業員や、取引先さまは、大きな誇りとロイヤリティを持つことが出来るのではないかと思います。

本年が、イオンワンパーセントクラブとグループ各社、及び、地域との結びつきがより深まる一年となるよう、当社も主体的に取り組んでまいります。

ウエルシアホールディングス株式会社
代表取締役会長 池野 隆光



当社はイオングループの総合金融事業として、日本を含むアジア11カ国・地域においてお客さまの生活をより豊かにする金融サービスを展開するとともに、事業活動を通じた社会貢献に取り組んでいます。国内では、次代を担う高校生や大学生を対象に、金融に関する教育を提供するなど金融リテラシーの向上に努めています。また、東南アジアを中心とした海外では、「ファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）」の取り組みとして、貧困や差別等によって金融サービスから取り残され、経済的に不安定な状況にある人々を対象に、少額の融資をする金融サービス事業などを行っています。

当社は、イオン1%クラブが設立された1990年より、同クラブの一員として毎年、利益の一部を拠出し、国内外において、緊急災害復興支援や募金活動、学校建設支援事業など、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。現在は、総合金融グループとして、イオンクレジットサービス、イオン銀行、イオン保険サービスも参画しており、一社単独で取り組むには難しい社会貢献事業を、イオングループが連携することで、より多くのステークホルダーの皆さまに対して実現できていることに、大きな意義を感じています。

これからも持続可能な社会の実現に向けて、イオン1%クラブと共に、ステークホルダーに資する社会貢献活動をさらに推進してまいります。

イオンフィナンシャルサービス株式会社
代表取締役社長 藤田 健二



寄附・協賛企業一覧

みなさんのお買い物が社会貢献につながります

会社名	主な事業内容
イオン株式会社	純粋持株会社
イオン北海道株式会社	北海道において総合小売業を展開
イオンリテール株式会社	全国で総合小売業を展開
イオン九州株式会社	九州において総合小売業を展開
イオン琉球株式会社	沖縄において総合小売業を展開
株式会社サンデー	青森県を中心に東北でホームセンターを展開
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社	関東圏で食品スーパーマーケットを展開する マックスバリュ関東(株)、(株)カスミ、(株)マルエツの持株会社
マックスバリュ東海株式会社	食料品を中心としたスーパーマーケットの運営
マックスバリュ西日本株式会社	西日本で食品スーパーマーケットチェーン 「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」を展開
株式会社光洋	関西都市部でスーパーマーケットを展開
まいばすけっと株式会社	都市型小型食品スーパー「まいばすけっと」の運営
オリジン東秀株式会社	弁当、惣菜販売を中心に事業展開
ウエルシアホールディングス株式会社	調剤薬局併設型ドラッグストアを展開する ウエルシア薬局(株)などの企業を傘下に持つ持株会社
イオンフィナンシャルサービス株式会社	カード事業を中心に金融サービスをグローバルに展開
イオンクレジットサービス株式会社	クレジットカードや電子マネーなどの決済事業を展開
株式会社イオン銀行	商業と金融が融合した小売業発の銀行を展開

会社名	主な事業内容
イオン保険サービス株式会社	生命保険、損害保険代理業を展開
イオン・リートマネジメント株式会社	イオンの運営する商業施設への取得を通じて地域社会への 貢献を図る「イオンリート投資法人」の資産運用会社
イオンプロダクトファイナンス株式会社	個別信用購入あっせん、保証業務
イオン住宅ローンサービス株式会社	資産形成を目的とした「投資用マンションローン」事業を展開
イオンモール株式会社	多機能複合型商業施設を開発する商業ディベロッパー
イオンタウン株式会社	全国にNSC(近隣型ショッピングセンター)を展開する 商業ディベロッパー
イオンデイライト株式会社	IFM(インテグレートッド・ファシリティマネジメント)事業
イオンペット株式会社	ペットフードや用品の販売、トリミングサロン、動物病院、 ペットホテル、しつけ教室、介護ケアなどを展開
メガベトロ株式会社	ガソリンスタンド「ペトラス」をショッピングセンターに展開し カーケアサービス(タイヤ・コーティング等)を拡大中
株式会社未来屋書店	イオンを中心とした大型ショッピングセンターに 書籍専門店を展開
イオンリカー株式会社	リカーに係る専門店運営、 インターネット販売及び商品供給事業を展開
イオンアイビス株式会社	イオングループ各社のITインフラ・システム開発・運用、ならびに バックオフィス業務のシェアードサービスを展開
イオン商品調達株式会社	食料品、家庭用品、酒などの商品企画、卸売、及び輸出入 商品の調達及び販売に関するマーチャндаイジングサポート
イオンフードサプライ株式会社	畜産・水産・デリカ商品の製造加工ならびに配送事業を展開
イオンマーケティング株式会社	共通ポイント「WAON POINT」の運営及び高付加価値の マーケティングソリューション業務を展開

※2022年6月時点に開示されている情報に基づく